

温室効果ガス削減実施状況報告書

1 事業の概要

(1) 事業所の名称

ミヨシ電子株式会社 広島事業所

(2) 事業所の所在地

広島県 三次市 東酒屋町306

(3) 業種

2814 集積回路製造業

2 計画の期間

本計画の期間は、令和3年度を基準年度とし、令和5年度から令和7年度までの3年間とする。

3 温室効果ガスの総排出量に関する数量的な目標の達成状況

《排出量を削減目標とする場合》

単位：排出量（t-CO₂）、削減率（%）

温室効果 ガスの種類	基準年度 排出量(a)	目標年度 上段：見込量 (b) 下段：削減率 (c)	計画期間の実績 (上段：実排出量(d)、下段：削減量の対基準年度比 (e))				
	令和3年度 (2021)	令和7年度 (2025)	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)	令和 年度 ()	令和 年度 ()	令和 年度 ()
エネルギー 起源CO ₂	7,663	7,356 4.0	7,096 7.4	6,946 9.4	100.0	100.0	100.0
非エネルギー 起源CO ₂		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
メタン		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
一酸化二窒素		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他 温室効果ガス		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
温室効果ガス 実排出量総計	7,663	7,356 4.0	7,096 7.4	6,946 9.4	100.0	100.0	100.0
温室効果ガス みなし排出量							
実績に対する自己 評価							

※ 削減率(c) = ((a)-(b)) / (a) × 100 削減量の対基準年度比(e) = ((a)-(d)) / (a) × 100

《原単位を削減目標とする場合》

原単位算定に用いた指標：

温室効果 ガスの種類	基準年度 原単位 (a)	目標年度 上段：原単位 (b) 下段：削減率 (c)	計画期間の実績 (上段：原単位実績(d)、下段：削減量の対基準年度比 (e))				
	平成 年度 ()	令和 年度 ()	令和 年度 ()	令和 年度 ()	令和 年度 ()	令和 年度 ()	令和 年度 ()
エネルギー 起源CO ₂		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
非エネルギー 起源CO ₂		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
メタン		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
一酸化二窒素		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他 温室効果ガス		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
温室効果ガス 排出量総計		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
エネルギー消費 原単位 (原油換算kl)		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
実績に対する自己 評価							

※ 削減率(c) = ((a)-(b)) / (a) × 100 削減量の対基準年度比(e) = ((a)-(d)) / (a) × 100

4 温室効果ガスの排出の抑制に係る具体的な取組の実施状況

○ 温室効果ガスの排出抑制に向けた取組

	項 目	削減量等	具体的な取組
1	電力量の削減	省エネ法の基準に基づきエネルギー消費量（電気+熱）を年1%削減する。（原油換算値） 2023年度：3,696 (KL) 2024年度：3,613 (KL) 削減量：△2.3%	省エネ機器の導入 老朽化設備の更新 設備メンテの計画的な実施 省エネ啓発活動の実施 デマンド管理の運用と制御
2	CO2排出量の削減	動力設備の省エネ、製造現場の効率化及び省エネにより、2021年度比売上高原単位で2025年度に4%削減する。 基準年：7,663 (t-CO2) 2024年度：6,946 (t-CO2) 削減量：△9.4%	省エネ機器の導入 老朽化設備の更新 設備メンテの計画的な実施 省エネ啓発活動の実施 デマンド管理の運用と制御
3			
4			

○ 温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する取組（環境価値の活用等）

	種 類	合計量
1	クリーン電力の購入	2024年度購入量（365 t-CO2）
2		
3		

○ その他の取組

	項 目	削減量等	具体的な取組
1	D f E の取組み推進	年度ごとのアセスメントによる製品の改善ポイントを10以上とする。	・アセスメントによる製品の改善
2	水の有効利用		・老朽化した水冷式設備の空冷化 ・水使用量の見直し
3	ステークスホルダーへの積極的な情報提供		・環境報告書の内容の充実、改良
4	地域貢献	地域貢献活動の企画推進	・1回/年の工業団地内清掃の計画・実施 ・その他、地域清掃活動への参加
5	廃棄物総量の縮減	2019年度売上高原単位を維持する。 基準値：9.06 (kg/百万円) 2024年度：7.73 (kg/百万円) 削減量：△14.7%	・廃棄物の受入抑制、利材化推進 ・分別の徹底、リサイクル率の向上
6	紙使用量の削減	2021年度売上高原単位の対して2025年度までに4%削減する 基準値：0.290 (kg/百万円) 2024年度：0.204 (kg/百万円) 削減量：△29.7%	・資料、記録類の電子化 ・紙の節約

※ 環境に配慮した実践的な取組などをされていれば記載してください。